Canon

EOS Kiss X2

Pocket Guide

ポケットガイド

このガイドは、デジタル機能の設定、撮影、再生方法を簡単に説明しています。撮影の際に本ガイドを携帯してご活用ください。詳しい説明については、EOS Kiss X2 使用説明書をお読みください。

J
日本語版

CT1-5235-000 PRINTED IN JAPAN

すぐ撮影するには

1 電池(バッテリー)を入れる

2 レンズを取り付ける
EF-Sレンズは白い指標、EF-Sレンズ以外は赤い指標に合わせて取り付けます。

3 レンズのフォーカスモードスイッチを〈AF〉にする

4 カバーを開け、カードを入れる

5 電源スイッチを〈ON〉にする

6 モードダイヤルを〈□〉(全自動)にする
撮影に必要な設定がすべて自動設定されます。

7 ピントを合わせる
写したいものにAFフレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押して、ピントを合わせます。

8 撮影する
さらにシャッターボタンを押して撮影します。

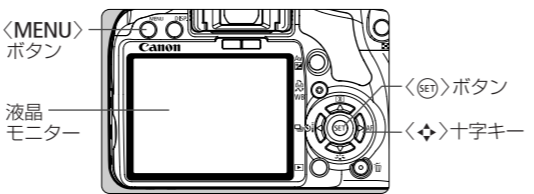
9 画像を確認する
撮影した画像が液晶モニターに約2秒間表示されます。

- タイトル右の 応用 マークは、応用撮影ゾーン(**P**、**Tv**、**Av**、**M**、**A-DEP**)限定の機能です。
- **撮影可能枚数の目安**

温度	ストロボ撮影なし	50%ストロボ撮影
常温(+23℃)	約600枚	約500枚

デジタル機能設定

メニュー機能の設定方法

メニュー機能の基本操作は、カメラ背面の液晶モニターを見ながら、〈MENU〉ボタン、〈✥〉十字キー、〈SET〉ボタンで行います。

*[撮影/機能設定/マイメニュー]タブは、全自動などのかんたん撮影ゾーンでは表示されません。

1 メニューを表示する
- 〈MENU〉ボタンを押すと表示されます。

2 タブを選ぶ
- 〈◀▶〉を押してタブ(系統)を選びます。
- 〈ダイヤル〉を回して選ぶこともできます。

3 項目を選ぶ
- 〈▲▼〉を押して項目を選び、〈SET〉を押します。

4 内容を選ぶ
- 〈▲▼〉または〈◀▶〉で内容を選びます。(〈▲▼〉で選ぶ内容と、〈◀▶〉で選ぶ内容があります。)

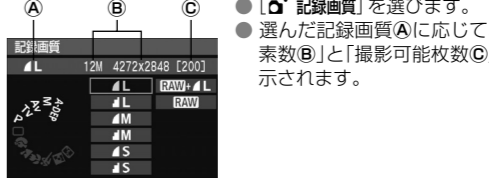
5 設定する
- 〈SET〉を押すと設定されます。

6 設定を終了する
- 〈MENU〉ボタンを押すと表示が消え、撮影機能の設定状態表示に戻ります。

メニュー機能一覧

画面はすべて、応用撮影ゾーンで表示される内容です。
■[撮影/機能設定/マイメニュー]の画面、および▶の項目はかんたん撮影ゾーンでは表示されません。

記録画質

- [撮影 記録画質]を選びます。
- 選んだ記録画質Ⓐに応じて、「画素数Ⓑ」と「撮影可能枚数Ⓒ」が表示されます。

記録画質		記録画素数	1枚のサイズ(約・MB)	撮影可能枚数	連続撮影可能枚数
◢L	高画質	約1220万(12M)	4.3	460	53
▟L			2.2	880	880
◢M	中画質	約630万(6.3M)	2.5	770	770
▟M			1.3	1470	1470
◢S	低画質	約340万(3.4M)	1.6	1190	1190
▟S			0.8	2290	2290
RAW	高画質	約1220万(12M)	15.3	120	6
RAW+◢L			15.3+4.3	99	4

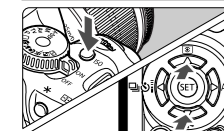
- かんたん撮影ゾーンでは、RAWとRAW+JPEGは表示されません。
- 撮影可能枚数と連続撮影可能枚数は、撮影条件によって変わります。あくまでも目安として利用してください。
- 連続撮影可能枚数は、ファインダー内の一番右下に表示されます。

ピクチャースタイル 応用

- 〈▼ ピクチャースタイル〉ボタンを押します。
- 〈▲▼〉を押して選び、〈SET〉を押します。

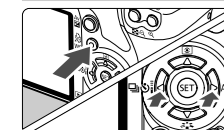
スタイル	画像特性・内容
スタンダード	色鮮やかで、くっきり
ポートレート	肌がきれいで、ややくっきり
風景	青空や緑の色が鮮やかで、とてもくっきり
ニュートラル	自然な色あいで、メリハリが少なく控えめ
忠実設定	5200K程度の環境光下で撮影したときに、被写体とほぼ同じ色あい
モノクロ	白黒画像

デジタル機能設定

ISO: ISO感度 応用

- 〈ISO〉ボタンを押します。
- 〈電子ダイヤル〉、または〈▲▼〉で選びます。
- 「**Auto**」を選ぶとISO感度が自動設定されます。シャッターボタンを半押しすると、設定されたISO感度が表示されます。

ISO感度: AUTO / 100 / 200 / 400 / 800 / 1600

低感度 ISO100	明るい場所、静止している被写体（ノイズが少なく、きめ細かい画像）
200	
400	
800	
1600 高感度	暗い場所、動きのある被写体（やや粗い画像）

WB: ホワイトバランス 応用

- 〈WB〉ボタンを押します。
- 〈◀▶〉を押して選び、〈SET〉を押します。

- AWB オート（自動設定）
- 太陽光（晴天）
- 日陰
- くもり、薄暮、夕やけ空
- 白熱電球
- 白色蛍光灯
- ストロボ使用
- マニュアル

ホワイトバランス
オート

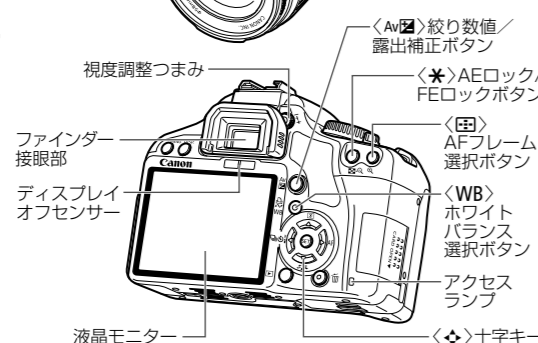
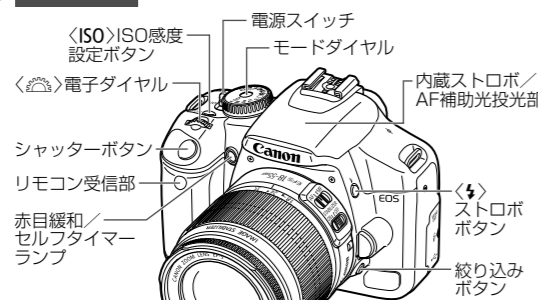
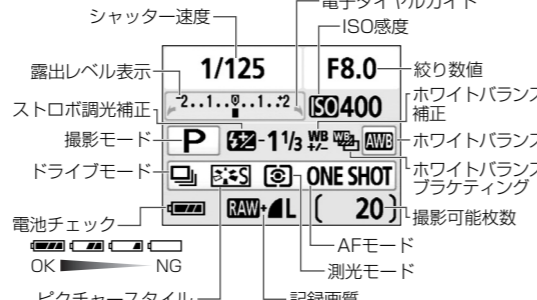
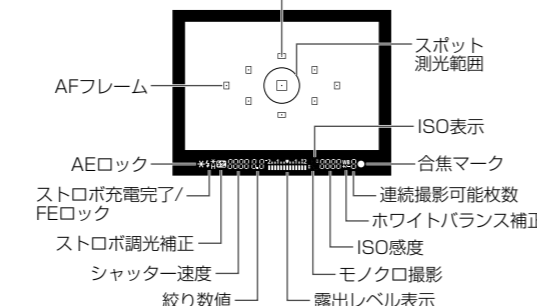
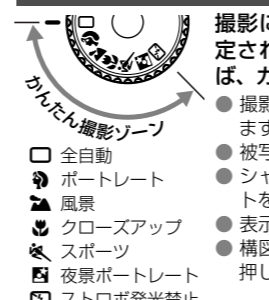
撮影操作

各部名称

撮影機能の設定状態表示

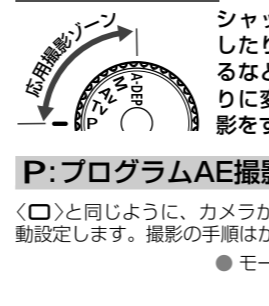
シャッター速度 / 電子ダイヤルガイド / ISO感度 / 露出レベル表示 / 絞り数値 / ストロボ調光補正 / ホワイトバランス補正 / 撮影モード / ホワイトバランス / ドライブモード / ホワイトバランスブラケティング / 電池チェック / 撮影可能枚数 / AFモード / 測光モード / ピクチャースタイル / 記録画質

1/125 F8.0 -2..1..0..1..+2 ISO400 P -1 1/3 AWB ONE SHOT RAW+L [20]

OK ― NG

ファインダー内表示

かんたん撮影ゾーン

撮影に必要な設定がすべて自動設定され、シャッターボタンを押せば、カメラまかせで撮影できます。

- 撮影目的に応じた撮影モードを選びます。
- 被写体にAFフレームを合わせます。
- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
- 表示を確認します。
- 構図を決め、シャッターボタンを全押しして撮影します。

- 全自動
- ポートレート
- 風景
- クローズアップ
- スポーツ
- 夜景ポートレート
- ストロボ発光禁止

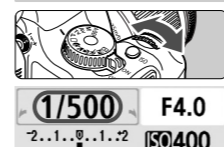
応用撮影ゾーン

シャッター速度や絞り数値を選択したり、露出を自分の好みに変えるなど、カメラの設定を思いどおりに変えることで、さまざまな撮影をすることができます。

P: プログラムAE撮影

〈□〉と同じように、カメラがシャッター速度と絞り数値を自動設定します。撮影の手順はかんたん撮影ゾーンと同じです。

- モードダイヤルを〈**P**〉にします。

Tv: シャッター速度優先撮影

1/500 F4.0 ISO400

- モードダイヤルを〈**Tv**〉にします。
- 〈電子ダイヤル〉を回し、シャッター速度を設定して、ピントを合わせます。

➡ 絞り数値が自動的に決まります。

- 絞り数値が点滅するときは、点滅が止まるまで〈電子ダイヤル〉を回します。

Av: 絞り数値優先撮影

1/30 F16 ISO400

- モードダイヤルを〈**Av**〉にします。
- 〈電子ダイヤル〉を回し、絞り数値を設定して、ピントを合わせます。

➡ シャッター速度が自動的に決まります。

- シャッター速度が点滅するときは、点滅が止まるまで〈電子ダイヤル〉を回します。

内蔵ストロボ撮影

かんたん撮影ゾーン

暗いときや日中逆光時に、内蔵ストロボが自動的に上がって発光します。（〈風景〉〈スポーツ〉〈ストロボ発光禁止〉を除く）

応用撮影ゾーン

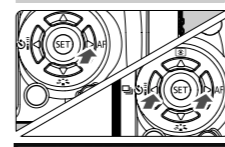
〈ストロボ〉ボタンを押して、内蔵ストロボを上げてから撮影します。

内蔵ストロボの届く距離

ISO感度	広角：18mm	望遠：55mm
100	約1～3.7m	約1～2.3m
400	約1～7.4m	約1～4.6m
1600	約1～14.9m	約1～9.3m

（EF-S18-55mm F3.5-5.6 IS 使用時）

AF: AFモード 応用

AFモード
ワンショットAF
ONE SHOT AI FOCUS AI SERVO

- 〈▶ AF〉ボタンを押します。
- 〈◀▶〉を押して選び、〈SET〉を押します。

ONE SHOT（ワンショットAF）：
止まっている被写体を撮るとき

AI FOCUS（AIフォーカスAF）：
AFモードを自動切り換え

AI SERVO（AIサーボAF）：
動いている被写体を撮るとき

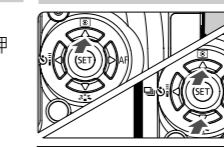
AFフレーム 応用

- 〈AFフレーム〉ボタンを押します。

AFフレーム選択
任意選択

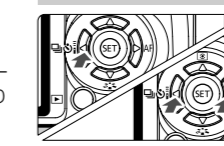
- 〈十字〉十字キーを押して選びます。
- 〈SET〉を押すと、中央のAFフレームと自動選択が交互に切り換わります。
- 〈電子ダイヤル〉でも選択できます。

測光モード 応用

測光モード
評価測光

- 〈▲ 測光〉ボタンを押します。
- 〈▲▼〉を押して選び、〈SET〉を押します。

評価測光：標準測光方式
部分測光：中央約9%
スポット測光：中央約4%
中央部重点平均測光：
中央部に重点を置いて画面全体を平均的に測光

ドライブモード 応用

ドライブモード
連続撮影

- 〈◀ ドライブ〉ボタンを押します。
- 〈◀▶〉を押して選び、〈SET〉を押します。

- □ ：**1枚撮影**
- ：**連続撮影**
- ：**セルフタイマー10秒／リモコン***
- ：**セルフタイマー2秒**
- ：**セルフタイマー後連続撮影***

*〈セルフタイマー10秒〉〈セルフタイマー後連続撮影〉はどの撮影モードでも選択できます。

再生操作

撮影情報表示